



2024年11月14日

各 位

会社名 横浜ゴム株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山石 昌孝
(コード番号: 5101 東証プライム)
問合せ先 法務部長 増田 万博
(TEL. 0463-63-0429)

自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第34条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、2024年2月16日に公表した2024年度から2026年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク)において、企業価値向上の基本方針を「成長戦略」として、微増に甘んずることなく「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」の成長)を達成することを目指しております。

また、「財務戦略」として、この「成長戦略」を実現するうえで事業構造に最適なバランスシートとして自己資本比率50%を目安とすることを方針としております。

このような方針のもと当社の業績は、本年8月に「YX2026」の最終年度である2026年度の経営目標について、売上収益は1,000億円増の1兆2,500億円、事業利益は200億円増の1,500億円、事業利益率12%に当初目標から上方修正したほか、当期2024年12月期第3四半期決算についても、事業利益が834億円(前年同期比69.6%増)となり過去最高益を大幅に更新するなど、好調に推移しております。

しかしながら、当社の株価は、原材料の高騰や自動車用タイヤにおける北米を中心としたアジア製廉価タイヤの流入増加、農業機械の生産減少による新車装着向け農業機械用タイヤの需要低迷への懸念など、主に短期的な要因により軟調に推移していると推察しております。

当社は、2024年12月末における自己資本比率がYX2026の財務戦略にて掲げた目安である50%を上回る見通しであり、この機会を活かして資本効率を一層高めるため、自己株式の取得を決定しました。なお、本件は当社の成長戦略と資本効率向上の両立を図るものであり、成長投資に対する当初の優先順位とコミットメントに変わりはありません。

当社は資本コストを意識した経営を推進しており、安全性と効率性のバランスを確保しながら最適な資本構成を実現することで資本コストを低減し、併せて「戦略投資」を積極的に実行することで「Hockey Stick Growth」の達成を目指してまいります。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 1,314,700 株 (上限) (発行済株式総数 (自己株式を除く。) に対する割合 : 0.78%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 50 億円 (上限) |
| (4) 取得期間 | 2024 年 11 月 15 日から 2024 年 11 月 20 日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け |

(注) 市場動向等により一部又は全部の注文の執行が行われない場合があります。

(ご参考) 2024 年 6 月 30 日時点の自己株式の保有状況

| | |
|--------------------|---------------|
| 発行済株式総数 (自己株式を除く。) | 169,549,081 株 |
| 自己株式数 | 8,752,591 株 |

以上